

# 発達障害支援に係る専門職合同研修

～理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・公認心理師・臨床心理士・臨床発達心理士の合同研修～

全体テーマ 「子どもの不器用さについての理解と支援  
～発達性協調運動障害(DCD)の視点から～」

参加費無料

発達性協調運動障害(DCD)は、子どもの生活全般に及ぼす影響が大きく、自己肯定感が低くなりやすいと言われています。しかし、一般的な認知度はまだ高いとはいえず、支援の対象であることが気づかれなかったり、困難さが軽く見られたりする場合があります。今年度の専門職合同研修では、DCDについて他職種の視点も含めて考える機会を持ち、子どもの運動・行動の様子からどのようなことが分かるかの再確認や、日常生活で無理なくできる工夫の提案、子どもの意欲の引き出し方などについて考えます。

午前の部 座談会では、県内の各専門職団体から支援の現状をご報告いただき、午後の部 講演会では作業療法士の加藤寿宏先生(京都大学大学院医学研究科准教授)から、苦手さをもつ子ども達をどのような方法で支援することができるのか、ご講演をいただきます。皆様のふるってのご参加をお待ちしております！

日時

令和2年2月8日(土) 10:00～15:45(受付開始9:30)

※悪天候等により、研修を中止する場合は、研修開催日の前日午後5時までに埼玉県発達障害総合支援センターのホームページにてお知らせいたします。

対象

県内在住・在勤の

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、公認心理師、臨床心理士、臨床発達心理士

会場

埼玉県発達障害総合支援センター 研修室

(さいたま市中央区新都心1-2 南玄関3階)

定員

180名(先着順とさせていただきます)

※ 申込者が定員を超え、入場をお断りする場合のみ御連絡します。



埼玉県のマスコット コバタン さいたまっち

## プログラム

【座談会】10:00～12:00

「DCDや不器用さの問題を巡って、私たちが今やっていること ～各職種の視点を知り支援に深みを増す～」

◆ファシリテーター:

国立障害者リハビリテーションセンター 発達障害情報・支援センター 発達障害支援推進官 加藤 潔 氏

◆登壇者:

埼玉県理学療法士会・埼玉県作業療法士会・  
埼玉県言語聴覚士会・埼玉県公認心理師協会・  
日本臨床発達心理士会埼玉支部

【講演会】13:00～15:45

「子どもの不器用さについての理解と支援」

◆講師: 京都大学大学院医学研究科准教授  
加藤寿宏先生(作業療法士)

## 講演講師

加藤 寿宏 先生

<講師略歴>

首都大学東京人間健康科学研究科にて博士号取得(作業療法学)。特別支援教育士SV、日本感覚統合学会副会長、日本発達系作業療法学会会長。

大学で教鞭をとるかたわら、附属病院での臨床や地域の学校での支援を実践されています。平成19年に京都府作業療法士会特別支援教育OTチームを設置、システムとしての教育と作業療法の連携を目指しておられます。

著書「感覚統合療法 作業療法技術ガイド第3版」(文光堂)、監修「乳幼児期の感覚統合遊び」(クリエイツかもがわ)など論文著書多数。




申込み  
問合せ

埼玉県発達障害総合支援センター 地域支援担当

電話:048-601-5551 FAX:048-601-5552

主催

埼玉県  埼玉県理学療法士会 埼玉県作業療法士会 埼玉県言語聴覚士会  
埼玉県公認心理師協会 日本臨床発達心理士会埼玉支部